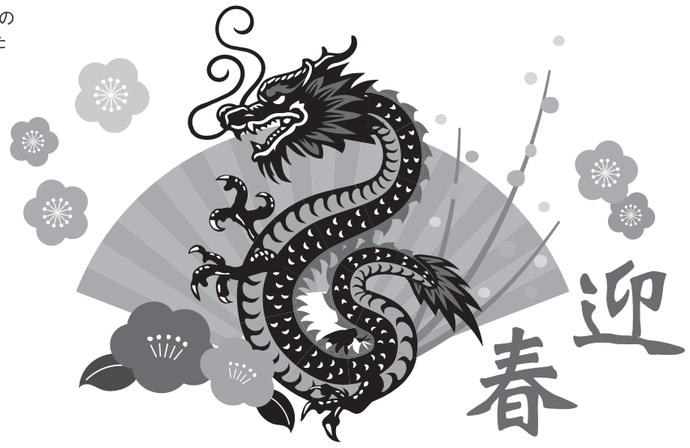
会報たますぎ
発行日　令和6年1月1日　第138号

たますぎ

コロナ禍の終焉
河内神社、古典芸能伝承館での
4年ぶりの奉納上演となりました
（令和5年5月3日）



新春 山五十川まちがいさがし!

下の2つの絵に「まちがい」が5つあります。わかるかな?

応募方法

郵便はがき
63
9997201
鶴岡市山五十川甲475―1
山五十川自治会
新春まちがいさがし　係

まちがいさがし答え（5コ）

・名前
・住所
・電話番号
・会報たますぎへのご意見・ご感想

●ご応募いただいた方の中から抽選で５名の方に素敵なプレゼントが当たります！
●余った年賀状などで（公民館の応募箱へ入れる場合は、はがきサイズの台紙でもOKです。）どしどしご応募ください。

応募の締切りは、
令和6年1月5日（金）必着

当選者の発表は賞品のお届けをもって替えさせて頂きます。

あとがき

新年明けましておめでとうございます。勝手に毎年恒例、干支で「あいうえお作文」。今年は辰年の「た・つ」で。2文字で寂しいですが。

「た」楽しく豊かな暮らしは
「つ」つながりを大切にすること
とから

共に泣いたり、笑ったり。そして、いざという時に助けてくれるのは、「家族」はもとより、親戚、友達、先輩やご近所さんだったりします。

日頃のからの小さなつながりの輪。時には煩わしいこともあるでしょうけども、ゆるくても色々な「つながり」を大切にしていきたいですね。

今年も皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げます。

山五十川自治会
総務部　広報係長

発行所　山五十川自治会
発行者　会長　本間秀志
印刷　JA印刷山形

新年のあいさつ

山五十川自治会長
本間秀志

新年あけましておめでとうございます。

日頃より自治会事業に対しましては格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

世界的に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染症も令和5年度から扱いが代わり、各地域においては例年通りの催事が行われるようになりましたが、この感染症が人々に与えた影響は大きく、色々な場面で新しい考え方や改革を推し進める機会となりました。

現在日本では、少子高齢化が社会的な大きな課題の一つとなっており、特に人口の過疎化が著しい地域においては、地域経済の先細り、公的サービスの充実が衰退する状況が顕在化し、地域活動人口が減少することで、未来の地域経済を担う人材不足につながり、地域のサービスや福祉・経済・防災活動の維持について懸念材料となっています。

当地域では昨年、包括支援センターあつみの支援を受け、支え合い「結の会」が発足しました。私たちが住み慣れた地域で安全・安心で活き活きと暮らし続けられるように人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち続けることを目標としており、当自治会においても連携協力し、共に地域共生社会の実現を目指したいと思っております。現況における環境下での地域コミュニティの維持・活性化に取り組むには、地域一人ひとりの協力や理解、ちょっとした気遣いが必要不可欠です。ここに住む様々な個々の人材が活躍できるように、地域民同志が集まって話をする機会を多く持つことで、役割分担が決まり、各々が得意分野を活かし、やりがいと生きがいを持って取り組んでいただくことが地域活性化の成功につながるものと思っております。

山五十川集落では、永い間に渡り、保存継承されている古典芸能や地域行事、独自の魅力的な祭礼行事・各種組織による親睦を深める催事など多くの文化資源が存在し、受け継がれております。伝統文化は地域の歴史や特色を次世代へ伝えるための手段であると同時に全国各地の人々がこの地を訪れるきっかけをつくる重要な観光資源にもなります。

当山五十川地域には視点を変えることによって地域資源となり得るものは数多く眠っているといえます。この地域資源を再度見つめなおし、人々の知恵を結集し創意工夫や改革を進めながら、次世代に伝えることが私たちの使命と思っております。

今後とも地域民みんなが、この地域の魅力を感じ、地域に誇りと愛着を持つことができるように一人ひとりのご理解とご協力を賜りながら自治会活動を展開してまいりたいと存じます。

新年を迎え、地域の皆様が健康で安心安全な、そして明るく楽しい日々を送られますこと、豊かな地域づくりができますことをご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

今年から「会報たますぎ」では、例年掲載していた「歳祝い」は、諸般の事情により掲載しないこととなりました。ご了承ください。

寄付者ご芳名

2023年　1月17日　令和5年還暦祝者一同
1月27日　三浦芳和
3月7日　三浦甚内
5月15日　本間茂良
5月30日　山五十川テレビ共同受信施設組合
6月27日　本間利直
9月26日　佐藤診療所
10月10日　本間和正
11月27日　山口稔
11月30日　斎藤勝

（敬称略）

ご寄贈ありがとうございました。

今後の予定

1月14日(日)　塞土祭
2月11日(日)　一日研修会
3月17日(日)　通常総会

詳細については後日お知らせします。
皆さんの参加をよろしくお願いします。

Welcome to Yamairagawa

ようこそ！山五十川へ♪

令和5年4月から山戸駐在所に
勤務となった阿蘇さんに、
インタビュー形式でお話をうかがいました！

地域のみなさんと一緒に「玉杉の保護活動」
作業後はもちろん懇親も深めました（笑）

1. お名前・経歴は？

阿蘓　敦（あそ　あつし）

1994年5月28日生、酒田市（旧平田町）出身
南平田小学校→飛鳥中学校（現東部中学校）→酒田西高校→日本大学工学部（郡山キャンパス）。
部活は小中高と野球部でした。

2. 山五十川の印象は？

山五十川の印象は、自然が豊かで水がきれいだなと思いました。仕事で道を歩いていると川の水など透き通っていて純粋に綺麗だなと眺めていました。一番印象的なところは住人が皆さんお優しいことです。初めての転勤で不安だらけだった私にも気さくに接してくれ、色々な場に呼んでいただけたこともとても嬉しく思っています。

3. 地域の行事に参加してみて

玉杉の保護活動などに参加して、地域住民同士の距離が近く結束力の強い地域だと感じました。その場に呼んでいただき、加えて反省会などもご一緒できて大変楽しい時間を過ごさせていただきました。

4. これから山五十川でやりたいこと

事故0 、詐欺被害0 を目標に皆さんに色々な機会を通じてお話できればと思います。駐在所員ではあるものの山戸地区に住む一人の住民でもあるので皆さんとより仲良く、より地域に溶け込んでいければと思います。

山五十川 フォトスナップ

Photo Snap in Yamairagawa

玉杉清掃ボランティア

秋は落ち葉拾い。階段周りや駐車場をキレイに
これからも、地域のみんなで玉杉の保護活動を推進しましょう

夕陽能

コロナでお休みしていた夕陽能も久方ぶりの開催でした
最高の夕陽をバックに

山五十川走ろう会

なんと! 今年は活動の発足から50年
週3回、「おはよう」からはじまる、世代間のつながり
お気軽にご参加ください♪

ふるさとまつり

よいしょ! 新調した臼と杵でおもちつき
やっぱり収穫感謝の秋のお祭りには「もちつき」がないと、ですね!

山五十川地区運動会

第1回目となる山五十川地区運動会
今年は、老若男女が集い、グラウンドゴルフ大会を開催しました

わくわくお泊り

久々の夏の子ども野外事業
岩戸様までハイキング、大きな岩に感動しました

山戸保育園閉園

地域の中学校、小学校、そしてついに保育園も
昨年3月には閉園式が行われました。寂しくなりますのぉ

道路美化清掃

長年の道路美化清掃の取り組みに対し、
国土交通大臣から感謝状の授与を受けました

自主防災訓練

一朝有事に備えた、消火栓を使った放水訓練を実施しました
「いざ」という時の初期消火は地域のみんなで

夏祭り

やっぱり、夏祭りといえば広場で生ビール!
カラオケ大会も大盛り上がりでしたね

春祭典奉納上演

4年ぶりに河内神社古典芸能伝承館で
神様、特に今年は大喜びだったことでしょう

子どもたちの思い

山五十川で育つ子どもたち。地域に学校は無くなりましたが、山五十川への郷土愛は育まれています。未来を担う子どもたちの熱い思いをビシビシ感じてください!

大好きな山五十川

あつみ小学校6年生
三浦 羽希（うき）
（嘉兵衛）

私が山五十川に住んでいて誇りに思うことはたくさんあります。その中でも特にそう思うことは二つです。

一つ目は玉杉です。私が生まれる何年も前からあり、大事にされてきて、今では国の天然記念物に登録されています。私も時々玉杉にのぼるのですが、その存在感にはいつも驚かされています。なので、これからも大切にしなければいけないなと思います。

二つ目は山五十川に住んでいる人たちのことです。私が登下校するとき、いつも「おはよう」「おかえり」と声をかけてくれて、いい気持ちで登下校することができてます。山五十川の人はいつも笑顔があふれていて、本当にいいところだなと思います。

これからわたしが大人になっても、山五十川が住みやすい、いいところであるように、わたしも地域のためにできることを探し、関わっていけたらいいなと思います。

山五十川に来て思うこと

あつみ小学校6年生
本間 蒼空（そら）
（源左ェ門）

ぼくが山五十川に来たのは3年生の時です。青森から引っ越してきて思ったのは自然が豊かなところだなぁと思いました。川の水が綺麗ではじめて、ホタルを見てびっくりしました。

学校からの帰宅途中に近所のおばあちゃんに、お菓子をよくもらっています。

いつもありがとうって、感謝です。

地域の方々もみんな、親切で優しい人が多いなと思っています。

これから中学生になりますが、もっともっと勉強を頑張って、将来は、人の役に立つお仕事について自分自身をみがける人になりたいと思います。

「うたごえカフェ」はじめました♪ 三浦 正司

私は子供の頃から歌う事が好きで、社会人になりうたごえ喫茶に行ったり合唱団に入り歌っていました。

山五十川に来てからも、いつかは「みんなで歌う会」を実現したいと思っていました。今年から老人クラブの役員になり、役員会で「うたごえカフェ」の開催の提案をしたところ賛成して頂き、老人クラブ主催で6月よりスタートする事ができました。

「うたごえカフェ」は映像で綴る、美しき日本の歌、愛唱名曲、こころの風景、フォークソング、歌謡曲など、映像を大型スクリーンに映しながら参加者全員でうたいます。自分は歌うのが苦手でも聞くのは大好きと言う方も大歓迎です。開催日は毎月第2土曜日午前10時～11時30分まで公民館で行います。参加者はドリンク付きで１００円、どなたでも参加自由です。

12月で6回目になりますが、今は参加者が20名ぐらいに増えています。歌うと言うことは心の栄養、生きる喜びを実感し、私自身最高の喜びですが、参加者皆さんの笑顔、特に大先輩の方々が毎月楽しみにして来てくれる事がとても励みになっています。

特に11月21日の東京の出前演奏班「東北人」をゲストに呼んで行った「うたごえカフェ」は、参加者の皆さんから「素晴らしいハーモニーに感動した」と好評を頂きました。

これからも楽しい企画をしながら「うたごえカフェ」が地域の皆さんの心の拠りどころになるようにいつでもお待ちしています。一緒に楽しく歌いましょう。

「あぱやマルシェ」を開催してみて 本間 朱美

山戸小学校が閉校してしまい「何かここでやりたい」「自分がやっているマルシェというカタチで山五十川を、いろんな人に知ってもらいたい」「マルシェを知らない地域の人達にも楽しさを味わってもらいたい」そんな思いを、ずっ～と持ち続けていました。夢で終わるものと思っていましたが、「手伝うからやろう!!」と私の背中を押してくれる人達がいてくれたおかげで「あぱやマルシェ」を開催する事が出来ました。

始めは、「こんな山に人が来るのか?」と言われ、いろんな心配事などを一緒に考え、一つ一つ解決してくれたメンバーの皆さんや沢山の地域の皆さんのご協力により、予想以上のお客様に来て頂いたおかげで大成功で終えることができました。

次の春の第2回に向けての準備をすでに始めております。もっともっとお客様に喜んでもらえたらと思い、いろんな知恵を出し合っています。

是非、地域の皆さんからも一緒に盛り上げてくれるメンバー、出店者になっていただけたらなあと思っていますので興味ある方は連絡いただけたらと思います。

最後に、今年のあぱやマルシェもお楽しみに!!